

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)テックランド 堺インター店	階数	地上3F
建設地	大阪府堺市中区平井770番1の一部	構造	S造
用途地域	無指定	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	物販店,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年4月 予定	評価の実施日	201●年●月●日
敷地面積	9,125 m ²	作成者	(有)高田建築設計
建築面積	4,517 m ²	確認日	201●年●月●日
延床面積	10,543 m ²	確認者	(有)高田建築設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 ・周辺の街並みに調和するよう、建物の形をできるだけシンプルにした。 ・沿道にはできる限りの植栽を設けている。		
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・床・壁・天井・建具等の建材、接着剤は全てF☆☆☆☆を使用	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・売り場の天井高3.6mを確保した。 ・売り場の平面は極力凹凸を少なくした。	Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・周辺の街並みに調和するよう、建物の形をできるだけシンプルにした。
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・断熱性を高めて熱負荷の抑制に努めている。	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・断熱性を高めて熱負荷の抑制に努めている。	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・燃焼機器の使用は無いため大気汚染部式は発生しない。 ・駐車場・駐輪場を十分確保した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)テックランド 堺インター店	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市中区平井770番1の一部 他17筆(別紙)	0.8	B-
	主用途/延床面積	物販店 / 10,542.59 m ²		

2. 重点項目への取組み				
重点項目	評価点	取組み度		
CO ₂ 削減	4	● ● ● ● ●		
みどり・ヒートアイランド対策	1	● ● ● ● ●		
エネルギー削減	4	● ● ● ● ●		
建物の断熱性	1	● ● ● ● ●		
安全快適な暮らし	4	● ● ● ● ●		
自然エネルギー利用	—			

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点	
	地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.8	4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	1.0	1
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	2.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	1.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	3.8	4
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	1.0	1
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点	
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	3.0	4
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	3.0	
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	3.0	
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	5.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	—

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	